

市立病院跡地利用説明会 5月22日 記録

市側説明員 企画部長、企画調整課長、他6名 住民 約百名弱

1. 日野市側からの冒頭挨拶（企画部長）[CH1]

市立病院跡地は昨年4月位から地域と話ながら進めてきた。市としては情報提供しながら進めてきた。今年4月の事業者説明会の中で地域の方に情報が伝わっていないという指摘を受けた。本日は今まで情報提供した内容を含めて説明したい。

市としては7000m<sup>2</sup>を超える大きい土地利用に関することなので地域の人の理解を得ながら進めることが大切。今後ともよろしくお願いします。

2. 説明職員の紹介（企画調整課員）

企画部長、企画調整課、財産管理課員、企画調整課員2名、  
財産管理課員

3. 資料の説明（企画調整員）[CH1]

資料は2部、進め方は説明の間に質疑応答を行う。

4. 私立病院跡地を考える会（市民）の冒頭挨拶[CH2]

市の用意した議題で、3番目の「今後の進め方」が最も重要なテーマと思う。

質問事項、懸念事項、意見、質疑応答などが出てもではどうするのだという結論には到達できない可能性があり、また本日集まれた人だけで結論をだすべきものではない。

まず市からの情報で足りない部分の説明をしていただき、今後どのように情報を共有化し、意見を取りまとめ、話し合いをして結論をだすかが重要と思われる。

跡地を考える会が市民全員の総意ではないので、個人の疑問点、意見はどんどんだしていただき市の方とコミュニケーションをとり、生産的な会議にしたいと思います。

5. ビデオ撮影の許可（市民）

正確な記録をとるためビデオ撮影をしたい。了承

6. 事業者選定にいたるまでの説明（企画調整課長）[CH3]

資料に沿って経過説明をする。

市の構想の位置づけは、

第2次行財政改革大綱（H11/8月～）の中で、「自主的な健全財政の確立」が不可欠であることを定めている。このため歳出の抑制のほかに歳入の確保が必要である。具体策として遊休地の貸付、不要財産の処分を務めるが明確に決定している。

日野いいプラン2010（H13/3月）が10年間を見据えて策定。

いいプラン2010は市民も参画し2年間かけて策定。次世代に過大な負担をかけない健全財政の考慮、新規経営手法の導入、多様な事業手法の検討が織り込まれている。

これを受け公有地対策プロジェクトチーム（H13/10月～）が設置され、土地開発公社の健全化、市有地有効活用を検討している。

日野市まちづくりマスタープラン（H15/10月～）も市民参画で策定した。地域別詳細計画（日野台地域）の中で市立病院跡地についても明確に記載されている。

公有地対策プロジェクトチームについて詳しく説明する。（資料の2番）

H14年1月に市立病院跡地は民間活力の導入という方向性を決定

H14年3月に本議会の中でのやり取りを含むが、土地名義の変更（一村共有地）  
地域からの地区センター、消防施設の要望を検討。

H14 年 8 月に広報で公有地対策プロジェクトチーム取り組みを紹介（資料参照）  
普通財産（行政目的のない土地）は民間貸付、処分を検討していることを公知している。  
市立病院跡地も普通財産となる。

H15 年 9 月までに事務的な作業（土壌調査、託児所の整理）を実施した。

H16 年 3 月公有地対策プロジェクトチームの方向性検討を議会の中で報告している。

#### **公有地対策プロジェクトチームの検討内容について説明する（資料の 3 番）** [CH5]

「現状維持」は市民の財産であり、地域にとっての有効活用、健全な財政に進むため却下。

「公共施設」は市の財政状況を考慮すると困難。

「売却」土地の付加価値を考え、有効活用しながら、20 年後に判断する。

「有効活用」健全財政、立地条件を考慮した収益が見込める。手法は民間活力の導入をする。

もっとも良いのは事業借地権で 20 年後に更地で戻ってくるもの。

以上から「有効活用」の方向性を決定。

この間に議会とのやり取りもあった。H14/3 月の一般質問で公有地対策プロジェクトチームで検討している、地域から地区センターなどの要望があることを報告している。

H14/3 月一村共有地について、H15/9 月に土壌調査を議会に報告。

最終的には H16/3 月議会の企画総務委員会の中で、プロポーザル方式導入予定の方向性を報告した。

#### **市民への情報についての説明** [CH 6]

広報 H16 年 6 月 15 日号で大きく説明し、意見を求めた。

H16 年 6 月 16 日地元市民に対して説明会を開催。告知は自治会回覧で行った。（資料参照）

H17 年 4 月地元市民に対して事業者説明会を開催。告知は自治会回覧で行った。（資料参照）

H16 年 6 月～H17 年 4 月までに地元自治会役員と 3 回、商店会 1 回意見交換会を実施している。

情報についてはなるべく公開する姿勢であったことを理解してほしい。

### 6. 市民（平山） [CH 7]

**[市民]**市民として跡地利用に関心がある。一点目の質問はホームページ以外では H16 年 6 月以降前回の H17 年 5 / 15 の広報まで地元住民以外には公知していないがこの点どう考えているか？ 2 点目は市は PC の普及率を何%と捕らえているのか、ホームページに掲載することで情報伝達できたと考える根拠を教えてください。3 点目は前回の説明会で「バイパスの用途地域変更を考えているのでは？」と質問したがその予定がないとの答えであった。しかし都市計画課に確認したところバイパスが 20 号となったら現在は未定だが準住居地区に用途変更を提案したいとのことであった。前回の回答を訂正してほしい。4 点目は跡地の所有者に個人所有者がいる。この方と市と事業者の関係を教えてください。

**[企画調整課課長]** 1, 2 の質問に回答する。情報伝達に関しては積極的に進めた。入り口では広報で説明をした。土地利用は地元の問題であるので地元と意見交換する場（6/16 の説明会、自治会役員との意見交換、選考後に地元説明会）を持った。選考後に地元説明会の後全市に対して報告の予定だが 4/5 の地元説明会、4/24、本日と続いている。本件に関する資料は膨大なのでホームページに掲載した。普及率は把握していない。ホームページによる伝達が不十分である指摘は謙虚に受け止めている。

**[企画部長]** 3 点目について回答します。前回の答えは、病院跡地利用のための用途変更はない。

5 年に 1 回の見直しはあると答えた。現在も病院跡地利用にともなう変更はない。

**[財産管理課員]**4 点目について回答します。一村共有地については整理した。7000mm のうち北側の駐車場として 160mm が個人所有地である。事業者と個人が契約の話は進めている。

**[企画部長]**個人と事業者で契約は進めている。

**[市民]**160mm での近隣とトラブルが発生したらそれは市とは無関係か？

**[企画部長]**基本的には事業者と近隣だが市も当然対応する。

**[市民]**後日トラブルが発生したときのため個人所有者にもこの会に出席してもらいたい。

7. 市民（多摩平）[CH10]

**[市民]**住民の意見を取り入れた根拠に日野いいプラン 2010 を使っている。日野いいプラン 2010 は私も参加したが、市民として一般の姿を描くものであり具体的な私立病院跡地利用とかには適用できない一般論であり、これをもって住民参画とは言わないで欲しい。

公有地対策プロジェクトのメンバーを教えて欲しい。説明会を実施した、自治会役員に説明したというのが住民が参画していないことについてどう考えているか？

**[企画調整課課長]**日野いいプラン 2010 は約 200 名の市民で策定した。財政については市民提案シートから、「財政の説明には市民にわかり易い説明書が作られなくてはならない。日野市の財政難が深刻化しているが赤字財政克服のために市民と行政がパートナーシップを結んで協力し次ぎの世代に負の遺産を残さないことが大切」とあります。この中で、健全財政が必要であると市民も検討している。この方向性を受けて公有地対策プロジェクトチームが庁内で発足した。

**[財産管理課員]** 公有地対策プロジェクトチームのメンバーは、土地開発公社の経営健全化と同時に行うため 3 人のメンバーで結成された。財政課の職員、財産管理課の職員、土地政策の職員である。

**[企画部長]** 日野いいプラン 2010 は全体的な参画、説明会では地域とともに実施してきたが、伝わっていなかったという意見もあり今後も理解してもらうよう努力してゆく。

**[市民]**情報提供された内容を教えてください。

**[企画調整課課長]**昨年 6/16 の説明では、プロポーザル方式を採用、事業借地権で 10 から 20 年、市は年間 3000 万以上の収入、100mm の地区センター建設と 200 名収容のイベントホール（事業者経営）を条件とすることを説明。スケジュールと募集、決定の予定を提出。

8. 市民（多摩平）[CH12]

**[市民]**盛んに財政難の説明がでている。市民の安全面からの意見を聞きたい。たとえば介護保険にかかる費用を抑えるため健康面からのケアが必要。そのような観点から病院跡地利用を考えることはできないのか？

**[企画調整課課長]**介護保険料、国民健康保険拠出金は毎年増えている。健康を維持することは大切な行政課題である。日野人元気プランを基本に進めている。介護を進めないためのいろいろなプランを実施している。広報の意見から健康はキーワードとしている。また 3000 万に満たない場合も提案を受ける。というように間口を広く募集している（これらは後半説明する）が募集のなかでの選定であった。

9. 市民（多摩平 6 丁目）[CH13]

**[市民]**市の財政が苦しい状況が理解できていないが、今回の病院跡地からいくらの収益が必要なのか？それができない場合我々の生活（住民税等）にどのような影響があるのか？

今回のテーマからははずれるが、財政赤字の建て直しの全体プランを知りたい。(今回の件との兼ね合いを知りたい)。民間ではホームページを掲載したらアクセス解析するのが通常である。情報が正確に伝わったかどのように検証されましたか？

**[企画調整課課長]**市税の推移は H9 年が 298 億でピーク、その後減少し H15 年は 259 億、となっている。出を制して入りを図る努力をしているが、具体的に跡地利用で幾らの収入がなくてはならないという数値目標はない。市はなるべく多くあればと希望しているが地元周辺配慮をした中で総合評価をしている。民間手法は取り入れていない事実はある。事業の評価は、事業評価、政策評価という大きな流れで行う。

**[市民]**2 番目に聞いたかった評価はプランに対してでなく、市民参画を行ったというプロセスについてです。民間ではホームページを立ち上げたら何人が閲覧したか等を確認し、評価します。市は「説明したと思っていると」などギャップを感じている。また予算の話ではちょっと足しなければいいという数値目標がないプランとしてまずくないか？

**[企画部長]**H11 年第 2 次行財政改革大綱で健全化が打ち出された。土地開発公社は東京都より公社健全化団体の指定を受け H13 から 5 か年計画で 219 億から 91 億減少している。市有地普通財産についても処分、有効活用を図っている。病院跡地は現段階では処分でなく有効活用を考え財政に直接絡むことはない。一定の利益、土地の固定資産税の 3 倍から 5 倍の 3000 万円を設定した。3000 万が入れば何処とは言えないが歳出に当てる。

#### 9. 市民(多摩平)[CH16]

**[市民]**2 つ質問がある。前回も出たが議事録をきちっと取り、周辺にだけでもまとめたもの流して欲しい。借地料 3000 万、5000 万は事業者が市に払う金額である。業者はもっと収益を上げる必要があり、それによる住民のデメリットが考えられる。たとえば 24 時間営業の駐車場、違法駐車の問題など。これらを考慮しているか？

**[企画調整課課長]**記録は要点を取っています。戻ってから回覧などの方法を検討する。

2 つ目の質問については現在はプロポーザルにいたった状況を説明しているので後半に説明します。

#### 10. 市民(多摩平)[CH16]

**[市民]**前回記録を取るようお願いした。私も記録をとっているが要点を簡潔に答えて欲しい。記録をとっていれば用途地区に関する問題など訂正がされるべきだと思う。記録をきちっとってください。回答がない部分についてすぐ解答してください。「もっとも迷惑する住民に対して内容が周知されていない。どう考えていますか？」について回答がなかった。

公有地対策プロジェクトチームのメンバーは財政担当だけのように思えるがそれでよいのか？

**[企画調整課課長]**記録については後ろで取っております。「内容が周知されていない」ことに関しては実施したつもりでいたが行き渡っていないとの指摘を謙虚に受け止め今後きちっとする。

**[財産管理課員]**メンバーは、財政課の職員、公社の主幹課である財産管理課の職員、区画整理課の職員である。財産管理課の職員は財政関連ではない。

**[企画部長]**土地開発公社の健全化と市有地の有効活用をあわせて実施している。病院跡地は市有地の有効活用に含まれる。

#### 11. 市民(多摩平)[CH18]

**[市民]**プロポーザル方式（今回）に矛盾点があると思う。行政法の原理から、市町村は住民の市民生活の安定、安全などを確保するのが重要な任務である。また許認可事項、今回は温泉掘削であるが、は一般的には禁止するが特別な場合に解除することである。禁止するのは住民の市民生活に関係する事項を多く含むためである。温泉の場合都が許認可するが、市も協力して審査を行う。今回市が貸す立場であるが、市民の立場に立って厳正な審査が可能か？許認可事項をとまなう事業はプロポーザルの条件としてふさわしくないのではないか。前回の説明会では市民側でなく事業者側にたった立場となっている。このこと自体、市は重要な任務、立場と矛盾している。財政について話がでているが、市は経営が苦手なので財政だけを考えるなら土地を売ればよい。情報については自治会幹部に説明したがその情報が流れていないなど不明瞭なものを感じる。深夜営業、24h駐車場などは受験勉強をしている子供たちのことも考えてほしい。日野市は教育環境を考慮する必要がある。

**[企画調整課課長]**売却となると法律の範囲となるが市は売却を選択していない。市町村のおおきな役割は市民サービスです。公設公営から民設民営へと移行している。またサービスを提供するには財源が大きな問題である。プロポーザルの中で、地域住民への配慮という項目を大きく審査の項目と位置づければ十分住民に理解してもらえる土地活用が可能と考えている。情報についてはさらに努力する。

**[市民2]**「審査側がそういうことでよいのか」の回答省略するのですか

**[内企画部長]**市民生活の安全、安定に関しては市民サービスで十分考慮する。市民生活の安全安定、市民側にたった審査をしてゆくつもりであり、許認可に関してはこの考えかたで対応すればよいと考える。

## 12. 市民（周辺自治会長）（多摩平）[CH21]

**[市民]**時間がないので2番目の「議題のプロポーザルについて」の前に今後の進め方を話してほしい。原点に戻り市民側の代表を誰にするかを決めて進めてゆきたい。プロポーザルについては資料もあるので選択の説明でなく、いったん自然堂を選択したが今後どう進めたいか聞きたい。今後は市民側も選定委員を出して話を進めたいと思うが市側はどう思われるか聞きたい。

**[企画部長]**いままでの事業者選択にいたるまでの説明、事業者選択の説明をして理解を頂きたい。H16年以前からも対議会との対応も重ねながら現在に至っている。この中で情報が地域に伝わっていなかったので今後正してゆく。原点に戻って進めたいとの意見だが、2番目の議題のプロポーザルについて説明してから今後の方向性を話したい。

## 13. 市民（多摩平）[CH22]

**[市民]**プロポーザルにいたる内容についてもう少し詳しく情報を開示してほしい。

対議会の内容、公有地対策プロジェクトの検討内容、広報からの意見をもう少し具体的に開示してほしい。

**[企画調整課課長]**議会については議事録という形でホームページに出ているので後ほど情報提供します。概略はH14年3月議会では公有地対策プロジェクトチームを設置したことを報告、地区センターの消防小屋の要望が地域がだされたことを報告、一村共有地を整理したことを報告した。H15年9月議会で土壌調査中であることを報告。H16年3月企画総務委員会で地区センター、消防小屋の請願が審議された。またプロポーザル方式導入の方向性を示された。

**[財産管理課員]**公有地対策プロジェクトチームは市立病院跡地については売却せず 20 年後に見直すプロポーザル方式がベストとの提案にいたった。

**[企画調整課課長]**広報への意見では、8 件あった。健康増進センター、健康センター、葬儀上、高齢者賃貸住宅、多目的体育館、高齢者福祉施設、特別養護老人ホーム、堆肥化施設、公園があった。

**[市民]**それぞれについて却下した過程をしりたい。なぜプロポーザルが良いのか知りたいので公有地対策プロジェクトチームの検討内容を具体的に教えて頂きたい。可能でしょうか？

**[企画調整課課長]**資料は改めて。意見については選定委員が参考になっているがプロポーザルの提案がなければ無理である。議論のポイントは提出する。

**[市民]**全体の財政状況も踏まえ我々の理解できる資料をお願いします

14. 市民（多摩平） [CH23]

**[市民]**施設は利益優先でなく市民の健康を守り寝たきりにならないで生きがいのある人生を送ってもらえる施設にしてもらいたい。例えば、踏み台昇降をしたり、痴呆防止、筋力を鍛えるもの等。これにより介護保険も下がる。ふれあい会館は何をしているかも教えてもらえない。企画課だけでなく健康課も一緒になって実施してほしい。

**[企画調整課課長]**健康については日野市でも重要課題である。行政のなかでも運動増進を推進しているし、サークル活動などもある。文化スポーツ課の中ではいろいろ紹介できる。

健康にかんしてはウォーキングの町日野として取り組み進めている

次の議題に移るには時間がないとの意見があり、2 番は資料を見ていただきます。

15. 市民（多摩平） [CH25]

**[市民]**財政赤字解消が目的のため自然堂に決まったわけでないと思われる。

ならば財源確保を切り離して文教施設での有効活用を考えて欲しい。赤字解消なら新選組事業の赤字などを見直すことはできないのであろうか？

**[企画調整課課長]**約 7000mm の土地を何もしないことはありえない。財源確保の手段としてこの土地を使うことは今までの説明の通り。公共施設をたてることは困難である。地域に配慮したことのできる計画としてプロポーザル方式を選んだ。

16. 市民（多摩平） [CH26]

**[市民]**保育所を戻すことに関しては、どこで消えてしまったか確認してほしい。

**[企画調整課課長]**多摩平保育園は移転後もっとも新しい施設である。しかも十分に使える。

待機については民間の力を借りて対応中である。H13 年に金子ベビーホーム、暁愛児園の認証保育所へ移行定員 47 名、H13 年 1 2 月にはひよこハウス多摩平が 45 名で開設、H14 年 4 月ひよこハウス多摩平の 15 名増員、H15 年 11 月ひよこハウス豊田 60 名開設、H16 年 4 月ひよこハウス豊田 30 名増員、H16 年 6 月富士ライフピノキオ 80 名開設、H17 年 4 月富士ライフピノキオ 20 名増員など民間の力を借りて順次すすめている。H14 年議会一般質問の中で多摩平保育園が病院跡地にもどることはないとなっています。

**[市民 2]**多摩平保育園は契約であと 5 年で廃園にすると聞いている。第一幼稚園は 6 小に移し仮設にする。多摩平保育園は公団の土地を借りて仮設にし市立病院が建ちしだい旧私立病院に戻すと聞いていた。第一幼稚園は市議会で廃園になった。多摩平保育園は 5 年継続し廃園とし、民間に委託すると聞いた。民間に保育園をお願いしているにもかかわらず日野市は待機児童が都で一番多いと聞いている。第一幼稚園廃園の説明では幼児の数が減少していると

聞いた。前回の説明では多摩地区では幼児数がのびていると聞いた。この現状で対策をせずに温泉などおかしくはないか？待機児童数などの根拠、多摩平保育園をどうするか、など市の方針を説明して欲しい。

**【企画部長】**日野市として保育園、高齢者施設などは民間でできるものは民間でやってもらうことが馬場市長の基本方針である。どちらも市民の大切な施設なので支障のないよう対応しているところだ。細かい数値については説明させてもらう。多摩平保育園については大きい方向性が決まっていない。

**【企画調整課課長】**待機児は H16 年 181 人、H17 年は 113 人です。市としては待機児解消に民間の力をかりて進んでいる。

17. 市民（平山）[CH27]

**【市民】**市の発言はごまかしである。具体的に言うと、日野市の年間予算を 1000 億とすると 5000 万は 0.05% である。それで地域を犠牲にするのかという考えかたもある。企画部長は「市は市民の生活を守る」といっているが、なぜ市は第 2 種中高層住居専用地域を準住居に変更する前提にたっているのか？その情報がなければ誤解が生じる。矛盾のない説明が必要だ。日野市の商工会議所の会長のスピーチで市長のおかげ病院跡地に商業施設ができました。という情報もある。そこには市民の声はなく、別のところで決まった内容を今回の説明会のような場で説明しているように感じる。

**【企画調整課課長】**赤字財政については文章に記載されている通りであり、赤字というのは大雑把な言い方であり、歳入の減少ということがあります。

**【企画部長】**用途地域は東京都全体で 5 年ごとにみなすことと、区画整理による変更がある。市立病院跡地は事業をすることによる変更はありません。しかし 5 年に一度の見直しはある。ただし見直しは市として提案することは可能であるが、地域と話し合いをしなければできないという大前提がある。

18. 市民（多摩平）[CH28]

**【市民】**部長は住民の居住環境を考えて変更をするが準住居地域となるとドンキホーテが来るとなると矛盾を感じます、どちらを取るのでしょうか？説明をお願いします。また記録もお願いします。

**【企画部長】**用途変更は日野市民のために行う。住民の住居環境、土地利用を図るものである。病院跡地の土地利用を図る変更は考えていない。5 年に一度の見直しは近隣市との連携を取って行うが住民の意見を十分聞くことが前提である。建蔽率変更を市が提案し地元と話し、取り下げを行った例もある。今後の見直しははっきりわからない。

**【市民】**確認をしたいのですが、病院跡地は事業による用途変更はない。用途変更については住民の希望があれば用途変更をするということですか？

**【企画部長】**用途は日野市の中でもいろいろある。駅周辺、住宅地で違う。沿道部分については道路に応じた用途がある。5 年に一度の見直しでは近隣の市全体の見直しが発生する。

**【市民】**今の回答だと日野バイパスが 20 号となり、近隣の市で用途変更すれば日野市も用途変更するということでしょうか？

**【企画部長】**個別にあとで回答します。原則は 2 つあり 5 年に一度の見直しがあり、近隣市と見直す。病院跡地については面積、土地に特化した見直しをしない。

19. 市民（周辺自治会長 2）（多摩平）[CH30]

**[市民]**問題点は手続のあり方にある。結論として自然堂が出ている。これはプロポーザル方式であれば仕方ないかと思う。公有地対策プロジェクトチームでの検討を公募による市民代表をいれて再検討して頂きたい。そこでプロポーザル方式として再度決定した場合、結論としての自然堂の問題点を再検討して頂きたい。説明会は住民代表にやってもらいたい。

そうでないと結論がでない。自然堂の問題点はプロポーザルに達したときに行い、その場合も住民代表に入ってもらおう。

**[企画部長]** 公有地対策プロジェクトチームがプロポーザルを決定したわけではない。

市としては今の意見を持ち帰りたい。

20. 市民（多摩平）[CH30]

**[市民]**プロポーザルの採点方法に疑問を感じる。金額が多いと点数があがるが最低金額 3000 万は必要条件なので採点にいいとはいけない。やはりこれでは金額ありきで評価している。点数配分の見直しが必要である。

**[企画調整課課長]**総合評価をしている。今回はこの内容については説明しない。

**[企画部長]**できるだけ財源の確保するために金額を評価に加えた。大きい金額が落ちていることもあるが、再度確認をする。

21. 終了の挨拶[CH32]

**[企画調整課課長]**次回については掲示板、回覧で通知する。

**[市民]**今回、前回の記録はいただけるか

**[企画調整課課長]**要点筆記は発行する。

**[市民]**跡地に掲示板設置を検討してください。

**[企画調整課員]**検討します。

**[企画部長]**いろいろな意見提案があり再度検討したい。ありがとうございました。